

平成 18 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	38	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	図書資料貸出事業		
所属名	教育委員会 中央図書館 庶務係	電話番号	(03) 3656-6357 (直通)

事業の目的・概要・対象者等	《事業の目的及び概要》	《事業の開始年度》	昭和21年に図書館開設
	<p>1 区民の多様なニーズに応え、図書等必要な資料を収集、整理、保存して、広範な情報を提供するとともに、生涯学習の拠点として自主的な学習・文化活動を支援します。</p> <p>2 施設構成：中央図書館1館、地域図書館7館(平成17年9月東葛西図書館オープン)、コミュニティ図書館3館（松江図書館は建替えのため18年7月～19年12月頃まで休館します）</p> <p>3 平成18年4月からほとんどの施設で月曜開館と開館時間の延長を図り、より利用しやすい図書館をめざしています。</p>		
	【区総人口 平成18年4月1日現在】	対象者	660,914人

活動指標	活動指標	年間開館日数(11館)	活動指標	年間新規図書受入数(11館)
	17年度	3,208日 (16年度) 2,978日	17年度	175,958冊 (16年度) 176,783冊

成果・目標指標	成果・目標指標	年間貸出図書資料数	成果・目標指標	インターネット予約件数			
	17年度	4,320,590点	20年度目標	5,000,000点	17年度	467,402件	20年度目標
東葛西図書館(17年9月開館)は18年度以降を年間利用として算出、小松川・篠崎・葛西図書館の月曜開館、日曜・祝日時間延長、18～19年度の松江休館等を見込みました。 14年度 約349万点、15年度 約363万点、16年度 約408万点のペースで増加しています。		図書館に来館せずに自宅から希望の図書資料が予約できるインターネット予約は、平成13年度からサービスが開始され、件数は急激に増加しており、図書資料貸出の利便性向上の指標の一つであると考えます。 13年度 約7万件、14年度 約17万件、15年度 約26万件、16年度 約33万件。					

経費の概要	17年度 事業実施経費	1,514,505千円	経費の説明
	内訳	貸出図書資料一点あたりの経費は351円です。	
	【人件費と担当職員数】	842,080千円	経費は区が全額負担しています。

その他	《実施の根拠となる法令等》	図書館法、江戸川区立図書館条例、江戸川区立図書館条例施行規則
	《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》	ボランティアとして図書館サポーター16人が活動中。内容は、本の配架・館内行事受付などです。
	《その他》	

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	38	事業名	図書資料貸出事業
		所属名	教育委員会 中央図書館 庶務係

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。					1	
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5					
4	成果が上がっている。	5					
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。						*非該当
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。			3			
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			3			
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。			3			

所管部長の意見等

本区の図書館は他自治体に先駆け、図書検索予約システムを実現するとともに、専門非常勤職員の導入により、月曜開館の実施などサービスの拡充を実施してきた。  
 今後の課題としては、目標達成のための幅広い研究と合理的な手法の検討が必要である。これらを通して図書館が真に区民が求める情報を適確に提供できる情報センターとしての役割を高めていきたい。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	38	事業名	図書資料貸出事業
------	----	-----	----------

所属名	教育委員会 中央図書館 庶務係
-----	-----------------

外部評価委員評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。				2		
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5					
4	成果が上がっている。	5					
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。						*非該当
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。					1	
8	民間事業者への委託等の可能性がある。		4				
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。		4				

外部評価委員の意見

以前と比べると、予約や貸し出し方法など利便性が高まっている。  
これからも、良い本を入れてほしい。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。